

東六地区子育てサロン

東六地区社会福祉協議会 平成 27 年 6 月 26 日

子育てサロンに行ってみよう！

東六地区では毎月 1 回、主に第 4 金曜日に東六コミュニティセンターで東六地区社協と東六地区民児協が共催して子育てサロンを行っています。0 歳から 3 歳児までの子どもとその母親を中心に参加しており、今回は 4 組の親子が参加しました。このサロンは 15 年ほど続いており、今回の活動で 169 回目を迎えました。

今日は何をやるのかな？



東六番丁児童館の職員による
レクリエーションタイム！

サロンで行う内容は特に決めず、子どももお母さん達も自由に過ごせる場を作り、日頃の子育ての悩みを気軽に話せる環境や雰囲気を作ることを目的として行っています。サロンの開催日時は各町内の掲示版や回覧板などを通してお知らせする他、お母さん同士のネットワークを通じて口コミで参加する方も多いようです。

このサロンのもう一つの特徴は、地域の児童館とのつながりが深いということです。児童館の先生が毎回顔を出してくださり、今回はお母さんと一緒に楽しめる簡単な遊びや紙芝居の読み聞かせを行ってくれました。また、児童館の活動紹介も行ってもらいなど、様々な情報を提供してくれます。お母さん達からは「今度ここにも行ってみよう」などという声が出ていました。

取材してみた感想

今回初めて参加した方からは「もともと東六地区に暮らしていたわけではないので、身近に知り合いがおらず頼れる人がいなかった」「こういった場があってくれることはありがたい」という話を聞くことができました。集合住宅が増えてきている東六地区では転勤してきた方が多くおり、子育て中の方で身近に知り合いがいないという悩みを抱えた方もいるようです。

初めて子育てサロンに参加して、私たちは子どもたちにどのように接していいかわからなくて戸惑っていました。お母さん方は私たち実習生のようにサロンの間だけでなく、母親として 1 日の大半を子どもと一緒にいる中で、私たちの想像のつかない子育ての悩みを抱えていると思います。お母さんたちが日頃の子育ての悩みを気軽に話せる場所や同じ子育てをしている方々同士のつながりがあることによって、ひとりで抱え込むことなく安心して子育てできる地域になっていくと思います。

子育てサロンの支援者からは「小学校の入学式でサロンに通っていた子供の姿を見たときは子供の成長をとてうれしく感じた」という話もあり、子育てを地域全体で応援している地区であることを感じました。



おもちゃがいっぱいだ！
なにであそぼうかな～？

取材・編集

東北文化学園大学

和田直人 畠山美咲